

平成28年度 第3回 学校評議員会 概要

平成29年3月16日(木) 10:00~11:30

神戸市立桜の宮小学校 会議室

1. 出席者

平田 勝彦(桜の宮小施設開放委員長)	吉川 庸一(北鈴蘭台自治会長)
内原 政男(桜の宮連合自治会会長)	平馬 廣子(桜の宮児童を守る会)
井上 康代(桜の宮小学校PTA副会長)	宇山 美樹(桜の宮小学校PTA副会長)
丸岡 登(桜の宮中学校校長)	
三海 弘晶(桜の宮小学校校長)	小林 剛司(桜の宮小学校教頭)

【敬称略】

2. 次第

- ・はじめの挨拶 (三海校長)
- ・自己紹介
- ・教育に関するアンケートについて
- ・後期いじめに関するアンケートについて
- ・質疑応答
- ・おわりの挨拶 (三海校長)

3. 教育に関するアンケートについて【校報3月臨時号参照】

4. 後期いじめに関するアンケートについて【校報3月臨時号参照】

5. 意見, 質疑応答

○教育に関するアンケートについて

- ・わかりやすい質問なのでとても回答しやすい。
- ・先日のふれあい懇話会で話題になった放課後の子供の様子だが、桜小校区はお年寄りが多いまちなので、子供たちが遊んでいる時間には外にいない。どんな遊びをしているのだろうか。
⇒公園で遊んでいる。そこに基地をつくってそれを壊されたといったようなことがありました。学校では、みんなが使う場所(公共の場所)に基地をつくらないと指導しています。

○後期いじめに関するアンケートについて

- ・知り合いにいじめで高校を退学した女の子がいる。原因は携帯電話。夜中にも電話がかかってきて、それを無視するといじめられる。まさか自分の近くにそうなった子がいるとは。今子供がおられる保護者の方は注意しておかないと、と思う。
- ・万が一のためにと、家族間通話のみの携帯電話を持たせている。
⇒桜中がスマートフォンに対する十か条をつくっている。小中はスマートフォンの正しい使用方法を学んでいる段階です。保護者が子供のスマートフォンを見るなどのチェックは当然です。ぜひしてほしいです。

- テレビの影響でやっちゃったり言っちゃったりしていることがあるのでは。「きしょい」という言葉に抵抗感がなくなっている。
- 確かにテレビを見ても「どつき漫才」のようなお笑い番組が多い。相方をけなしたり、失敗した時のリアクションを楽しんだりする場面で笑いをとっている。大人が変わらないと子供は変わらない。
⇒ 中学も含めた桜の宮校区ではいじめ事案は少ない方ですが、桜中が「地域会議」を通して、心を耕す取り組みを発信しています。
- 少年野球を指導していた時、子供がエラーをしても責めずに、いいプレーをほめるようにしていた。
- 6年生と2年生に孫がいる。話を聞くと、学校でも放課後でも遊ぶ友達が決まっているとのこと。「学校に行ったら、限られた子だけでなく、みんなと遊びなさい。」と言っている。
- 娘が友人関係で悩んでいた時期があった。担任の先生に相談すると、すぐに話を聞いてくれた。「一人ではない」と感じる事ができれば乗り越えることができるので、守っていきたい。
⇒ 子供は真っ白な状態で生まれてきます。優しくされた子は人にやさしくします。つらく当たられた子は人につらく当たります。桜小は若い教師とベテランの教師が一つになって取り組んでいきます。またいじめた子はだめな人間だと烙印を押すのではなく、今回のことを教訓としてどう生かしていくのかという指導をしています。